

## 糞便中に残渣が排泄される薬剤

医療用医薬品の添付文書において、適応上の注意やその他の注意の項に「本剤投与後に白色の残渣が糞便中に排泄される」「白色の粒子が糞便中に排泄されるが、これは賦形剤の一部である」等、薬剤の残渣に関する記載があります。この残渣は製剤設計において、マトリックスと呼ばれる格子構造やエチルセルロース等の被膜でコーティングし、徐放化システムとしているため生じる現象であり、有効成分が不溶性のマトリックス基剤や被膜等から放出された後、これらの賦形剤が吸収されずに糞便中に排泄されるためと考えられています。

残渣の出現は、患者の体質や体調によっても左右されますが、強い下痢症状を伴った場合におこる薬剤の排泄を除けば、主成分の吸収には問題がないとされています。

糞便中に残渣が排泄される主な薬剤は以下の通りです。

一般名	商品名	徐放化システム	添付文書中の記載内容
バルプロ酸ナトリウム	デパケンR錠	マトリックスを核とし、徐放性被膜でコーティング	白色の残渣が糞便中に排泄されることがある。
	セレニカR顆粒	核顆粒を二重コーティングした膜制御拡散型	投与後に白色の粒子が糞便中に排泄されることがあるが、これは賦形剤の一部である。
テオフィリン	テオドール顆粒	徐放性顆粒	投与後に白色の粒子が糞便中に排泄されることがあるが、これは賦形剤の一部である。
メサラジン	ペンタサ錠	顆粒をエチルセルロースの多孔性被膜でコーティング	コーティング剤のエチルセルロースは水に不溶のため、糞便中に白いものがみられることがある。
塩化カリウム	スローケー錠	ワックスマトリックス	ゴーストタブレット（有効成分放出後の殻錠）が糞中に排泄されることがある。
塩酸オキシコドン	オキシコンチン錠	アクロコンチンシステム アクリル酸系高分子膜と高級アルコール膜の二重構造	マトリックス基剤（抜け殻）が人工肛門あるいは糞便中に排泄されることがある。

マトリックス（ワックスマトリックス）型について

疎水性・親水性の放出抑制物質である基質（脂肪やロウ）のマトリックス中に薬物を分散させて錠剤とした製剤で、マトリックスから、またはその崩壊により徐々に薬物が放出されるように調節した錠剤である。

コンチンシステムについて

広義にマトリックス型に属する。ヒドロキシアシルセルロース、高級脂肪アルコール及び主薬からなる均質なマトリックス構造を構成し、マトリックス壁の空隙から徐々に主薬が放出される。

【参考資料】DI実例 No.5 2005.9 メディセオホールディングス  
（鹿児島市医師会病院薬剤部 湯川 久信）